

環境

No.23

発行日：2015.11.00

Environmental Newsletter

ニュースレター



環境大賞の受賞者

Contents

環境大賞の受賞者紹介	2~3
県内各地のエコフェス	4~5
あきたエコマイスターの活動	6
市町村訪問	7
環境学習会	
Information	8

環境大賞の受賞者紹介

県では毎年度、環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を環境大賞として表彰しています。今年度は、地球温暖化防止、循環型社会形成、環境教育・学習、環境美化、環境保全の5部門に21件の応募があり、環境大賞選考委員会での審査の結果、5団体が平成27年度環境大賞に決定しました。（環境美化部門は、大賞該当者ありませんでした。）

地球温暖化防止部門



海と川と空の塾

世界自然遺産白神山地周辺にブナの森を復活させる活動

活動の概要

「自然と人間の共生」をテーマに、ボランティアによる実践活動を通じて、白神山地の象徴であるブナ林を復活させるため、平成8年から活動。毎年の植樹行事には、県内外から150～300人の参加者が集まり、これまでに植樹したブナは12,500本にも及んでいる。そのほか、ブナ林再生のための実地研修やブナに聞かせるミニコンサート、ブナの森ウォーキングなども実施し、これらの実践活動により、森の再生が図られており、地球温暖化の防止に貢献している。

受賞団体から

ブナ林再生、森の再生は温暖化の防止に大きく貢献していることが今回の受賞につながったと思います。今後も共に支え合い、学び合い、楽しく交流しながら実践活動を継続していく方針です。

循環型社会形成部門

活動の概要

平成18年から能代市で、家庭から出される生ごみの減量化と堆肥化に取り組む、地元で調達できる床材や消臭剤等の研究を行い、床材にはもみ殻くん炭、消臭剤には二ツ井産のゼオライトを使用する独自の方法を開発・実践している。

また、コンポスト容器等の使い方や堆肥の活用方法の普及啓発を行い、平成20年度からは能代市環境大学講座や生ごみ堆肥化講習会の講師として活躍。これまでの講座等の受講者は延べ約1,150人となり、実践活動及び市民への普及活動により循環型社会形成へ貢献している。



コンポスト見なおし隊

生ごみ堆肥化普及啓発活動

受賞団体から

コンポスト見なおし隊の当初の目的は達成でき、現在は普及隊のような活動になっています。今後も「生ごみの堆肥化」に関心を持ってくれる方々に、情報を的確に届けたいと思います。

また、「床材を地元で調達できないか」と実験を重ねていますが、結論を出せないでいます。いつか課題を解決できれば、と願っています。

環境教育・学習部門

活動の概要

自然に親しむことから自然の仕組みを理解し、自然保護の大切さを広めようと平成11年から活動。県内の動植物、地形、地質、景観等についての自然観察会等を年15回程度開催し、一般参加もある公開研修会には、毎回20名程度が参加するなど、自然保護の啓発はもとより生きがいがづくり、健康増進にも貢献している。また、平成26年度は秋田市仁別植物園において、4月～10月まで延べ124名の会員が案内を行ったほか、秋田市太平山自然学習センターが実施する、小中学生等との登山や自然観察会に講師として協力するなど、環境教育・学習へ貢献している。

ナトゥーア・秋田

自然に親しむことを通じての自然学習及び自然保護の啓発

環境保全部門

草木谷を守る会

八郎湖と草木谷と人を結ぶ「谷津田再生プロジェクト」

活動の概要

潟上市にある「草木谷」は、貧農救済のため尽力した石川理紀之助ゆかりの田んぼで、八郎湖の上流部に位置し、水源地としての機能を担っていたが、20年以上も耕作放棄されすっかり荒廃していた。平成18年に会を設立、翌年から地元小学生と無農薬・有機肥料（秋田市大森山動物園の「ゾウさん堆肥」）で環境に配慮した手作業での稲作を行う「田んぼの学校」を実施し、脱穀した生の稲わらはゾウの餌として提供するなど、資源循環型農業にも取り組んでいる。平成21年からは里山保全のため、地域内外の住民や学生などが参加しての酒米栽培交流会も開始し、収穫した酒米は地元の蔵元で醸造し、純米吟醸酒「草木谷のしぶき」として販売している。また、地域の自然環境の価値と、ホテルの生態や生息環境に対する理解を深めてもらおうとホテル鑑賞会を実施しているほか、他団体との定期的な情報交換や協働でのPR活動を行い、地域の環境保全や活性化に貢献している。



農業体験や生きもの観察会などを、地元小学校の環境学習プログラムや、地域の方々との交流を通じ、地域資源の大切さを伝えることが讃えられ、このたびの受賞につながったと思います。これからも里山の保全を通じ、そのすばらしさを多方面に発信していきたいです。

環境保全部門

あきたエコマイスター県央協議会

古里環境資源の再生～道路や里山、そして小川にも優しい環境づくり～

活動の概要

次世代に秋田の素晴らしい自然を渡そうと、平成20年から県央地域で活動。秋田市周辺では、県立大学周辺の「夕日の松原」松くい虫探査活動を4月～10月まで月に1回程度を行い、被害木の早期発見や松枯れ防止対策に効果が認められ、被害木が激減している。由利本荘地域では、私有林を借り上げて、下刈りや植樹等を環境学習として行う「里山エコの森づくり」を年6回実施し、森林を生かした環境学習会や地域の子どもたちを対象にした自然観察会や木工教室等を通じて、地域住民が森林の大切さを再認識するきっかけとなっている。そのほか、継続して地域にある河川の草刈りやクリーンアップ活動等も行い、地域の環境保全活動に貢献している。



独自の学習会の「あきたエコ塾」や「由利本荘エコ・リサイクル教室」等も積極的に開催し、秋田の環境全般について熱心に取り組んでいます。

こうした活動は、今後も県央協議会の活動の柱として継続していくつもりです。会員の皆様はもちろんのこと、一般の方でも環境活動に関心のある方なら誰でも参加を歓迎しますので、是非参加くださいますようお願いしております。



ナトゥーア・秋田は「秋田県自然観察指導員連絡協議会秋田市支部」の略称で、普段はこの名前を使用しています。

これまでの活動が環境教育・学習の推進に貢献したとして評価を受けたと思います。

今後も会員の資質向上のための研修会を重ね、これまで行ってきた事業等をより一層充実、発展させていきたいと考えています。



県内各地の

第15回あきたエコ&リサイクル フェスティバルが開催されました

9月5日（土）、6日（日）に秋田駅前アゴラ広場、買物広場大屋根下にて、『第15回あきたエコ&リサイクルフェスティバル』が開催され、約23,000人の方が来場されました。主催は、NPO法人環境あきた県民フォーラムや秋田県などで、毎年この時期に開催されます。

今年は、「エコのわ（輪／和）秋田に広げよう」というテーマのもと、子供たちによるエコメッセージでフェスティバルが開幕となりました。

38団体のブースは、省エネ・新エネ、3R、自然環境など様々な内容の展示があり、その内容は、環境にやさしい燃料の木質ペレット・ペレットストーブの実物展示や、空き缶散乱防止、不法投棄防止などのパネルによる展示、節電による温暖化対策の紹介、里山保全や子どもエコクラブの活動内容の紹介など多岐にわたるものでした。



エコドライブ
シミュレーター体験

体験コーナーでは、人力発電かき氷や県在住の外国の方々による伝統衣装や自国のエコについての展示・クイズ、着物の端切れを利用したヘアアクセサリーなどのエコグッズづくりができ、大変人気のあるコーナーで多くの方が参加されていました。

ステージでは、エコ実験パフォーマンス、小学生によるエコ活動の発表、「うちのエコ」トークショーなどに加え、「秋田のスーパーヒーローと共に地球の環境を守ろう!」と、超人ネイガーステージショーも行われ、大いに盛り上がりました。



エコバッグづくり



らんま先生のエコ実験
パフォーマンス



UVビーズアクセサリーづくり



ごみの分別体験ゲーム

エコフェス

会場の様子



7月26日(日)、北秋田
市中央公民館において北
秋田エコフェスタ2015
が開催されました。

鷹巣消費者の会が中心
となり手作りで作り上げ
ているイベントです。

開会式では、山野内会
長から「開催の案内を小学校や公民館に配布したので、子
供から大人までエコについていろいろ知っていただいて普
段の暮らしに役立ててほしい」との挨拶がありました。

各コーナーでは、省エネの推進や地球温暖化防止を
テーマとして、電球種別による消費電力の違いの実演、エ
コドライブに関する説明などが行われました。

また、北秋田市によるエコクイズでは市のごみに関し

北秋田エコフェスタ2015が 開催されました

て、「ごみの量がどのくらいか」、「どのように変わってき
たか」などのクイズが出題されました。参加者は自分の
住んでいる町のことで
もあり、一生懸命に答
えていました。

会場の中央には、手
作り体験としてエコ
バック、雑誌回収袋、
廃油で石けん作りなど
のコーナーが設けら
れ、たくさんの方々
が参加していました。



廃油で石けん作り

よこてエコライフフェスタ27が 開催されました

8月1日(土)、2日(日)、横手駅前のよこてにぎわい
イースト広場を会場に「くらしのなかのいろんなエコに
ついて考えてみよう!!」をテーマに、横手駅前商店街
振興組合主催のよこてエコライフフェスタ27が開催さ
れました。身近な環境問題について考えるきっかけ作
りやつくる楽しさ、できる喜びを体感できるイベント
で、来場者数は約800人でした。

夏休みの自由研究に役立つ体験型ワークショップが
多くあり、様々なブースや展示の中、高校生による「自

転車発電かき氷機」や、大学生による長く回り続ける
CDゴマ作りの「楽しい科学教室」も行われ、多くの子
供たちが取り組んでいました。



自転車発電かき氷



大館市エコフェア&マンモス フリーマーケット9が開催されました

7月11日(土)、12日(日)の2日間、大館樹海ドームに
おいて大館市エコフェア&マンモスフリーマーケット9
が開催されました。循環型社会に向けて、「リユース」
「リサイクル」意識の醸成とごみの減量化や循環型社
会に貢献することを目的とし、リサイクルや環境に関連
する企業・団体が事業内容や環境への取り組みについ
て展示・紹介していました。来場者は2日間で22,400人
でした。

あきたエコマイスター県北協議会と大館保健所の共
同ブースでは、電球を使用して消費電力を「見える化」
した省エネルギーの啓発、家電のリサイクルに関するク
イズなどが行われました。大館市のブースでは大館市
エコプラザの再生品の受入・販売や資源ごみの回収業
務などの紹介のほか、再生品の入札コーナーも開設さ
れました。企業・団体のコーナーでは、小型廃家電のリ

サイクルや認定リサイクル製品
の展示、木質ペレット普及啓発、
廃食用油を活用した石鹸やBDF
※の製造など様々な環境活動が
紹介されました。体験コーナ
ーでは「天ぷら油で走行中」と表示
されたBDFトラクターの試乗体
験があり、列ができるほど人気
でした。

※BDF(Bio Diesel Fuel)
……バイオディーゼル燃料
植物由来油から作られるディーゼルエン
ジン用燃料の総称であり、バイオマスエ
ネルギーの一つ。



エコマイスター・
大館保健所のブース



天ぷら油で走行中

これからもこれらのイベントが続き、参加する人たちの環境に関する学びの
場となって続いていくことを期待します。



あきたエコマイスター県北協議会

あきたエコマイスター県北協議会は大館市が例年開催している大館市エコフェア&マンモスフリーマーケットに今年も参加しました。

延べ36人のあきたエコマイスターが、準備から積極的に活動しました。

「展示パネルを観る人がほとんどいなかった」、「説明者が不足していた」という昨年の反省を活かして、今年は、パネルを見ながらクイズに回答し、回答者は、体験コーナーで「マイ箸作り」などの体験ができるという計画にしました。

1日目、「3R」関連のパネル6枚、「温暖化防止」関連パネル8枚を展示し、体験コーナーでは「秋田杉の廃材を使ったマスコット作り」、「マイ箸作り」を行いました。

100 個準備した資材を1日目ですべて使い切る人気ぶりとなりました。

2日目は、売電に頼らないエネルギーとして、外熱エンジン※により発電機を駆動させ、LEDを点灯させる展示

を行いました。

環境家計簿の啓発や環境あきた県民塾の受講生募集、アンケート調査も行いました。

アンケート調査ではエコマイスターへの認知度について、2日間で28%の人がエコマスターを知っていると回答しており、さらにあきたエコマイスターを広めていきたいと思います。

天候に恵まれ、会員の皆さんの積極的な参加により出展は無事完了できました。

(あきたエコマイスター県北協議会 山口さんより)



※外熱エンジン

……外からの熱によってシリンダ内の気体の圧力を変化(膨張・収縮)させて、動力を得る仕組みのエンジン



あきたエコマイスター県央協議会

仁賀保高原クリーンアップ

10月17日、あきたエコマイスター県央協議会由利班では、今回で9回目となる仁賀保高原ひばり荘付近の県道仁賀保矢島館合線沿線のクリーンアップを行いました。

当日は秋晴れに恵まれ、参加されたあきたエコマイスター25名の皆さんは仁賀保高原の自然を楽しむように活動されていました。

これまでの取り組みで沿線は相当きれいになったそうですが、落ち葉に埋もれたゴミまで回収し、参加された皆さんのおかげで沿線が一段とスッキリとしました。

午前中に行われたクリーンアップで回収されたごみは、燃えるごみと燃えないごみ合わせて28袋、タイヤ約20本、水中ポンプや毛布、重量100kg以上の重機のアタッチメントと思われる金属塊もあり、集められたごみはにかほ市役所が回収してくれました。

この日の仁賀保高原は、たくさんの観光客が牧歌的風景や秋のパノラマを楽しみに訪れていました。

多くの皆さんに支えられて美しい郷土が守られていることを実感した1日でした。



市町村訪問

～環境行政の特徴等を伺うため、横手市生活環境課を訪ねました。～



横手城

横手市の環境基本計画では「人と自然にやさしい田園都市よこて」を目指すべく環境像に掲げ、安全な環境、循環型社会、水と緑、人と環境にやさしいまち等をキーワードに様々な特徴ある事業を展開しています。

特徴的な施策

ごみ処理統合施設「クリーンプラザよこて」

市内3カ所に設置されている一般廃棄物処理施設が老朽化してきたため、現在、処理能力1日あたり95トンの新しいごみ処理統合施設を平成28年4月の本格稼働を目指して整備しています。

この施設は、焼却廃熱を熱エネルギーとして発電に利用したり、焼却残渣（ざんさ）をセメント原料として活用したりするなど、循環型社会に対応した設計です。

また、リサイクルする資源として、これまで対応していなかったガラス、陶磁器くずなども処理できるので、最終処分量の低減を図ることができます。

このほか、雪をエネルギー資源として有効に活用するため「雪室」を設置し、施設の冷房に利用することになっています。横手市では、この施設に限らず「克雪・親雪・利雪」という考えで雪に強いまちづくりに取り組んでいることから、地域の特性を生かした施設という側面もあります。



クリーンプラザよこて

横手市を『花と緑』でいっぱい！横手ガーデンシティプロジェクト

横手市では花や緑で「市民が花に憩い住み続けたい町」「観光客が癒されまた訪れたいと思う街」を目指しています。

事業の中で行われているグリーンカーテンづくりでは、市民向けの講習会や家庭で作られたグリーンカーテンの出来栄などを競うコンテストなども開催され、市民の皆さんも楽しみながら活動できる環境が整えられています。



旭ふれあい館のグリーンカーテン

横手市エコライフ協力事業所等認定制度

事業所や町内会等を対象に、循環型社会に向けた取り組み等を促進するため、簡易包装の推進や買い物袋の持参などの具体的な活動を実践する団体を市が認定する制度です。

認定事業所等の活動の事例などを紹介する「エコライフ通信」を発行し、環境に関する情報やエコな暮らしに役立つ情報の提供を行い、市民や事業者の積極的な環境配慮行動を促しています。



取材を終えて

この他に、地中熱利用、もみ殻エネルギー、自然エネルギー活用研究会、横手市美化大作戦など興味深い施策について教えていただきました。

貴重な時間を割いていただきました佐藤課長、佐藤副主幹、糸井主任に感謝します。



子どもたちの環境学習会 が開催されました

「ごみの適正処理」や「環境にやさしい暮らし」について知ってもらうため、男鹿市立払戸小学校、八郎潟町立八郎潟小学校、潟上市立東湖小学校の4年生を対象に秋田中央保健所と秋田県地球温暖化防止活動推進センターが環境学習会を開催しました。

ごみの減量化やリサイクル、おうちでできるエコについての話の後、環境クイズで内容を復習しました。また、再生可能エネルギーについても紹介し、風力発電工作キットで発電体験もしました。

子どもたちからは、「最終処分場があと29年しかもたないことに驚いた。クイズなど楽しかった。」

「一日に出るごみの量に驚いた。」「生ごみが肥料となることが分かった。家で植物を育てているので早速やってみたい。」「これからもポイ捨てはしないようにしたい。」「水などをこぼしたときティッシュを使っていたが、タオルを使うようにしたい。」などの感想発表があり、環境について関心をもってくれた様子でした。



Information

環境マネジメントシステムに関するセミナーを開催します！

平成28年
1/15(金)

環境マネジメントシステムに「関心がある」「導入を検討している」事業者の方々を対象に、環境マネジメントシステムの目的や効果等についてのセミナーを開催します。詳細については、右記にお問合せください。

■時 間／午後開催
■場 所／秋田県ゆとり生活創造センター
遊学舎 会議棟
■お問い合わせ／一般社団法人 あきた地球環境会議
TEL・FAX 018-874-8548

家庭の省エネチャレンジキャンペーン実施します！

地球温暖化対策の一環として、家庭における省エネ行動を推進するキャンペーンを実施します。12～2月に家庭で省エネ行動に取り組み、その内容を報告いただくと、抽選で協賛企業提供の賞品をプレゼントします。今年の冬は、家族みんなで楽しく省エネしてみませんか？

取組期間 12月～2月（報告は2月中旬以降に受け付けます）

参加方法 県ウェブサイト「美の国あきたネット」から、取組結果報告書の様式をダウンロードし記入してください。報告は、メール・FAX・郵送でお送りいただくか、電子申請もできます。

お問い合わせ 秋田県生活環境部温暖化対策課
TEL018-860-1573 FAX0180-860-3881 E-mail en-ondanka@pref.akita.lg.jp

発行

秋田県生活環境部環境管理課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
TEL 018-860-1571 FAX 018-860-3881
E-mail kankan@pref.akita.lg.jp

編集

NPO法人 環境あきた県民フォーラム

秋田県地球温暖化防止活動推進センター（ACCCA）

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎（秋田県ゆとり生活創造センター）内
TEL・FAX 018-839-8309 E-mail mail@eco-akita.org
ホームページ www.eco-akita.org/onsen

